

せんげたかともこう  
**① 千家尊福公の銅像** 尊福公は明治5年(1872)、28才で出雲大社第80代宮司として就任。明治天皇からの御信任が厚く元老院議員、貴族院議員を経て、埼玉、静岡、東京の各知事、司法大臣までも務められました。「年の初めの…」で始まる「一月一日」の歌の作詞は、尊福公によるものです。

**② 下り参道** 神社仏閣の参道で、下り参道はめったにありません。下りながら、一気に厳かな「神威の世界」に入っていきます。

はらえのやしろ  
**③ 祓社** ここに祀られる四社の祓戸神に、私たちが知らぬ間に犯した心身の汚れをはらい清めていただきます。これから参拝する大国主大神の御意に頂けるよう、ぜひ参拝しましょう。

きよめ いけ  
**④ 浄の池** 水面が見る人の心を清めてくれます。出雲大社は知る人ぞ知るパードウォッチングスポットです。

はらえのはし  
**⑤ 祓橋** 橋の下を流れる川は、出雲大社の背後の八雲山から流れる清流「素鷲川」です。八雲山は古来から禁足地とされる神聖な山。「マイナスイオン」を感じてください。

**⑥ 松の参道** 以前は殿様や皇族の方だけが真ん中を通ることが許されていました。この松は、寛永年間(1630年頃)に松江藩主の堀尾忠氏(ただうじ)の夫人が祈願成就の御礼に奉納されたものです。

**⑦ ムスビの御神像** 大国主大神がまだ若かった頃に、日本海の荒波の向こうから現れた「幸福奇魂(さきみたまくしみたま)」を授けられ結びの神となられたという神話の一場面を再現しています。御神像は鉾物できていて、昭和61年(1986)に京都の厳分祀の方が寄進したものです。

こじあい  
**⑧ 御慈愛の御神像** 神話「イナバの白うさぎ」で知られるだいき様は、大国主大神をさしています。白うさぎを助けたように御慈愛に満ちた神様として有名ですが、背負われた「袋」の中に何が入っているかご存知ですか?そこには私達の苦難・悩みが入っていて、私達の身代わりに背負っておられます。その後、大神さまは幾度も試験・難事にあつて死の淵に沈みましたが、その度に見事に復活、蘇りをされました。それで「復活の神」、「よみがえりの神」、「いのちを結ぶ神」と言われています。

**⑨ 皇后陛下の御歌の歌碑** 「国譲り 祀られましし 大神の奇しき御業を 偲びて止まず」この歌は、平成15年(2003)10月3日に皇后陛下がご参拝された折、「出雲大社に詣でて」と題され、大国主大神が皇室のご先祖に国土を奉還された「国譲り神話」を讃えて詠まれたものです。

てみずしゃ  
**⑩ 手水舎** 神前に進む前に両手、口を清めましょう。

**⑪ 銅の鳥居** 天正8年(1580)に毛利輝元によって寄進されたもの。寛文6年(1666)に損傷部分が多かったため、輝元の孫、毛利綱広(長州藩主)が現在の鳥居に造り直しました。銅製の鳥居としては、わが国で最も古い鳥居です。

おかりでん  
**⑫ 拜殿(御仮殿)** 現在の拜殿は、昭和34年(1959)に総ヒノキ造りで再建されたものです。今は「平成の大遷宮」中のため、拜殿は御仮殿となっており、平成20年(2008)4月から御遷宮中の大国主大神の仮のお住まいになっています。(平成25年5月まで)

こほんでん  
**⑬ 御本殿** 大社造りとよばれる日本最古の神社建築様式です。現在の御本殿は高さ24mで延享元年(1744)に3年半の歳月をかけて完成しました。古くは倍の48mの御本殿が建っていました。出雲大社では、60年に1度、厚さ1mのひわだ(ヒノキの皮)葺きの屋根を葺き替えてご遷宮を行います。現在の御本殿では4回目、昭和28年(1953)以来のご遷宮になります。

ろうもん  
**⑭ 楼門** 楼門とは、2階建てで下の部分に屋根のない門です。延享元年(1744)に再建。正月の間だけ一般に公開されています。

やつあしもん  
**⑮ 八足門** 門の鴨居部分に菟瑞獸と流水紋の美しい彫刻がほどこされています。とても見事で必見です。寛文7年(1667)建立。

じゅうくしゃ  
**⑯ 十九社** 旧暦10月の神在月(全国的には神無月)に全国から八百万(やおよろず)の神々が集まり、7日間の神饌り(かむはかり)の間、ここに宿泊されます。東西とも十九の扉があり、ご滞在の期間は全ての扉が開かれます。

そがのやしろ  
**⑰ 素鷲社** 大国主大神の父神、素戔嗚尊が祀られています。「八岐大蛇(やまたのおろち)退治」が有名で、神楽の演目の一つとしても人々に親しまれています。

かくらでん  
**⑱ 神楽殿** 建物は昭和56年(1981)に造営されました。祭典、祈願、結婚式などが行われます。大広間は270畳敷きの広さをほこり、神社建築にはめずらしく正面破風の装飾にステンドグラスが使われています。正面には日本最大級の大江連観(おおしめなわ)があります。

しきやくもん  
**⑲ 四脚門** 出雲大社関係の建築物の中では最も古いのです。(詳しくは中面参照)

協力：神門通り廻りの会

## 出雲大社ご案内図



**参拝の心得**

◎ 四つの鳥居をくぐる  
石木鉄銅とそれぞれに違う素材を使った四つの鳥居を丁寧にくぐり、御本殿までの間にしっかりと心を整えましょう。

◎ ニ礼四拍手一礼  
一般の神社では、手を二回打ち「ニ礼」ですが、出雲大社は「四拍手」が正しい作法です。二度拝礼して四回手を打ち、最後にまた一回拝礼をします。

## 出雲の味

**出雲そば** 「出雲そば」は、出雲地方で古くから愛されたソウルフードです。そばの実を甘皮ごと挽くので色が黒く、香りが高いのが特徴です。「割子」と呼ばれる三段重ねの朱塗りの器に盛られたおそばに、ねぎ、もみじおろし、海苔をのせ、だし汁をかけていただきます。

**出雲ぜんざい** ぜんざいは、出雲地方の「神在(じんざい)餅」に起因しています。出雲地方では旧暦の十月に全国から神々が集まり、このとき出雲では「神在祭(かみありさい)」と呼ばれる神事が執り行われています。そのお祭りの折に振る舞われたのが「神在(じんざい)餅」です。その「じんざい」が、出雲弁(ずーずー弁)で訛って「ずんざい」、さらには「ぜんざい」となって、京都に伝わったと言われています。

**あご野焼き** 山陰地方では、トビウオのことを「あご」と言います。日本海で5月から9月にかけて豊富にとれるトビウオのすり身を炭火で焼きあげたものが「あご野焼(あごのやき)」で、山陰の郷土料理となっています。

**板わかめ(のめは)** 「わかめ」は出雲国風土記にもその利用についての記載があり、出雲では古くから馴染みのある食材です。「板わかめ」とは、刈り取ったわかめを水洗いして脱水し、板状のぼしてパリパリになるまで乾燥させたものです。そのまま食べたり、細かく崩し、ふりかけのようにして熟々のご飯の上にかけてもおいしいです。また、軽く焙るとより香ばしくおいしくなります。

**てんぷら** 出雲では一般的に「さつまあげ」と呼ばれるものを「てんぷら」と呼んでいます。この地方の「てんぷら」は丸い形で厚くふくらしてあり、地元でも人気で長く愛されています。出来たてのアツアツを一枚ずつ食べ歩きながら比較するのもおすすめです。

**出雲の醤油** 出雲地方では特に「再仕込醤油」という一度作った醤油をベースに通常の2倍の時間をかけて作られる、より濃厚でとろみのある醤油が多く使われています。昔からお茶うけの煮しめの味付けや漬物、かまぼこなどにつけていたこと、新鮮な刺身の味を引き立てるなどの理由からです。

## 神々の都めぐり

**出雲の茶里旅**  
出雲大社編

電動自転車  
レンタサイクルで  
ゆつくり  
周遊しよう!

一日  
800  
円

時間	9:00 ~ 17:00 (※観光センターいずもは16:30まで)
貸出場所	○一畑電車出雲大社前駅 ○古代出雲歴史博物館 ○道の駅大社ご縁広場 吉兆館 ○観光センターいずも
お問合せ	出雲観光協会 (0853) 53-2112

## ガイドツアー お問合せ (0853) 53-2298

～神々の都あるき～ 出雲大社ご参拝定時ガイド

**料金 500円**

出雲神話の主人公、大国主大神が祀られる出雲大社を参拝しよう

- コース：勢溜→出雲大社境内→神楽殿→社家通り (定員15名)
- 出発時間：詳しくは神門通りおもてなしステーションにお問合せください。
- 集合場所：神門通りおもてなしステーション (所要時間：約80分)

～神々の都あるき～ 「神迎の道」の人とまち定時ガイド

**料金 500円**

神在月に、出雲の地に降り立った神々が通る道を辿る

- コース：勢溜→神迎の道→御宮通り→上の宮→稲佐の浜 (定員5名)
- 出発時間：詳しくは神門通りおもてなしステーションにお問合せください。
- 集合場所：神門通りおもてなしステーション (所要時間：約90分)



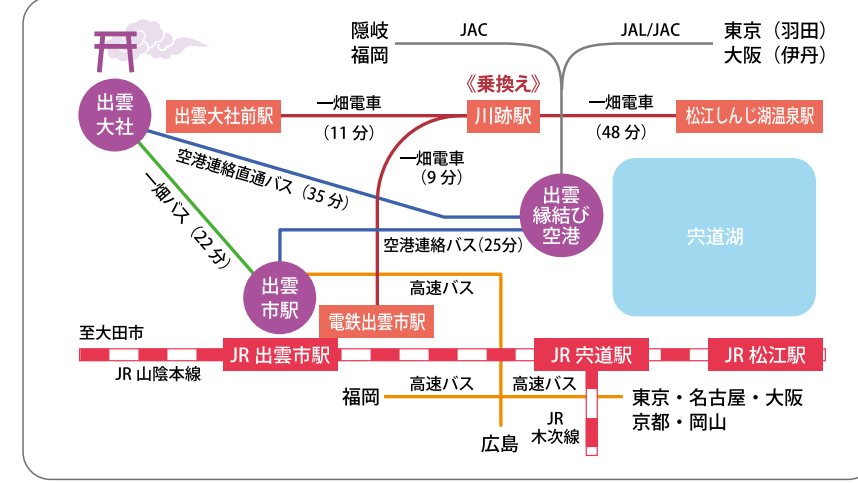
**縁結び**  
「縁」運命のめぐりあわせ

- 人と出会うこと、
- 恋人同士になること、
- 夫婦となること、
- 親子となること、
- 家を建てること、
- 仕事に就くこと、
- ものを買うこと、
- 旅をすること、
- 食べること、
- 遊ぶこと、
- 生きることすべてが

「縁結び」。

## 出雲大社からの公共交通アクセス ACCESS

<p><b>松江しんじ湖温泉駅へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一畑電車 《電鉄松江しんじ湖温泉行》 「出雲大社前駅」乗車 ⇒「川跡駅」乗換え ⇒「松江しんじ湖温泉駅」下車</li> <li>《急行松江しんじ湖温泉行》 「出雲大社前駅」乗車 ⇒「松江しんじ湖温泉駅」下車</li> <li>※休日を中心に直通便も運行されています。詳しくはお問い合わせください。</li> <li>【運賃】 大人790円・小人400円</li> <li>一畑電車出雲大社前駅 TEL 0853-53-2133</li> </ul>	<p><b>出雲市駅へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一畑バス 《出雲市駅行》 「正門前」バス停乗車 ⇒「出雲市駅」下車</li> <li>【運賃】 大人490円・小人250円</li> <li>●一畑電車 《電鉄出雲市駅行》 「出雲大社前駅」乗車 ⇒「川跡駅」乗換え ⇒「電鉄出雲市駅」下車</li> <li>※休日を中心に直通便も運行されています。詳しくはお問い合わせください。</li> <li>【運賃】 大人480円・小人240円</li> <li>一畑バス出雲支社 TEL 0853-21-2466</li> </ul>	<p><b>出雲縁結び空港へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●空港連絡バス 《出雲縁結び空港行》 「正門前」バス停乗車 (1日1便)</li> <li>【運賃】 大人850円 小人430円</li> <li>●空港連絡バス(出雲一畑交通) TEL 0853-21-1144</li> <li>J R 出雲市駅 TEL 0853-21-1118 J A L (予約・発着案内) TEL 0570-025-071(有料) 大社ハイヤー 0853-53-3211 出雲観光タクシー 0853-53-3230</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



観光に関するお問合せ

出雲観光協会 〒699-0721 鳥取県出雲市大社町修理免735-5  
TEL (0853) 53-2112 FAX (0853) 53-5856 HP http://www.izumo-kankou.gr.jp/